

## 慶應義塾大学工学部山岳部OB会 夏山山行・「穂高2022」記録

1. 目的  
穂高周辺登山をして小梨平に集い、OBの親睦を図る
2. 期日  
2022年7月29日(金)～7月31日(日)
3. 場所  
北アルプス小梨平、穂高岳周辺
4. メンバー16人  
OB会正会員及びその家族
5. 行事  
メイン行事・小梨平紅茶会  
日時:7月30日(土)16時半～20時半(最終集合15時)  
場所:小梨平  
内容:バーベキューセンターでの紅茶会
6. マイルストーン  
2月1日(火):小梨平ケビン予約済(B型ケビン8室、16～24人分)  
5月上旬:総会案内に夏山案内、コース案を記載  
6月12日(日):OB総会でコース毎メンバー内定  
6月25日(土):幹事会  
7月1日(金):小梨平ケビン部屋数最終確定→小梨平に連絡  
7月15日(金):各隊メンバー正式決定、計画書提出、保険加入確認  
幹事にて計画書をチェック  
7月20日(火):各隊登山計画書最終  
7月23日(土)以降:上高地あてに荷物発送
7. 実行委員  
実行委員長:31E伊藤(全体計画立案、案内連絡担当)  
保険担当:31E伊藤(株)ヤマセ 山瀬様 'kkyamase@f2.dion.ne.jp' 電話:03-3564-3511  
小梨平装備担当: } 33M川村(リーダー)  
小梨平食料担当: }  
小梨平紅茶会司会:40C中田  
小梨平会計担当:39M萬  
歌集担当:45B横山
8. 登山本部:34C荒 真康 携帯:090-6715-9176  
(自宅)川崎市中原区木月3-26-26 TEL:044-567-1838
9. 2022年山行コース(参加者16名)  
A. 西鎌尾根から槍ヶ岳(4日間、双六小屋1泊、槍ヶ岳山荘1泊、小梨平1泊) 7/28(木)～7/31(日)  
メンバー:42I庄司  
G. 屏風の耳(3日間、徳澤1泊、小梨平1泊) 7/29(金)～7/31(日)  
メンバー:L.40C中田、SL.40I吉武、29I小林、40M奈良部、48M千葉、72SD奥村、76PI加藤  
J. 岳沢(3日間、小梨平2泊) 7/29(金)～7/31(日)  
メンバー:L.33M川村、31E伊藤、20M穴戸、28E瀬上  
H. 紅茶会(2日間、小梨平1泊) 7/30(土)～7/31(日)  
メンバー:27M樋口、32M川本、39M萬、45B横山
10. 計画書  
(1)各隊のリーダーが計画書を作成  
(2)登山届は長野県警に事前に届ける
11. 登山本部への連絡  
(1)本山行の下山連絡は7月30日(土)全体下山時(最終17時)及び  
7月31日(日)解散時9時頃実行委員長が連絡を行う
12. 保険  
(1)山行参加者は山岳保険に全員加入する  
(2)データは前回のデータを使用する
13. コロナ対策  
参加者は各自出発1～2日前に抗原検査またはPCR検査を実施して、陰性を確認するものとします。  
抗原検査キットは薬局などで各自入手する(購入する場合は2000円前後)  
現地でのコロナ対策:小梨平キャンプ場のコロナ対策を厳守する。  
紅茶会はマスクをして、向かい合わないで歌う。ケビンでの2次会は行わない。

7月										
23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

## 14. 遭難対策体制

OBも高齢化しているため事故の可能性が上昇している。そのため遭難対策体制を明確化しておく。そこでOB会夏山の遭難対策体制として遭難対策員に協力を要請することになった。

本来遭難対策員はコーチ会における現役のための遭難救助体制のメンバーであるが遭難対策指針により組織的に動ける体制が構築されている。

- (1) 登山本部長を決める
- (2) 登山本部長への連絡は原則として夏山実行委員長よりおこなう
- (3) 夏山実行委員長は事前にコーチ会遭難対策員(現役山行のための組織)に山行期間中に協力可能か確認して、登山本部長に連絡をする  
本山行の遭難対策員:41A 田中(7/28,7/29)、42I 高塚(7/30)、50B 中村(7/28~7/30)
- (4) 遭難対策員は山行中オンコール対応の必要はないものとする
- (5) 現地より遭難報告を受けた登山本部長は、夏山実行委員長が必要と判断した場合は、遭難対策員に連絡網を通じて連絡をして遭難対策本部を設置する
- (6) 遭難発生時はOB会幹事、遭難対策員の大部分が現地にいるため、夏山実行委員長を責任者として現地にて迅速な救助活動を行う。

## 15. 山行検討・確認事項

- (1) 計画書はメールでやり取りするが、1週間前には全員にメールにて発送する
- (2) 現地連絡所は不要とする
- (3) 各隊の連絡方法  
携帯電話で連絡をとる。但し稜線と小梨平のみ可。  
小梨平から先は公衆電話。
- (4) 事故時の対応方法  
上部での重傷事故はヘリコプターを呼ぶ  
横尾までなら車で対応
- (5) 山小屋の予約は各隊毎で行う

## 16. 小梨平夕食・紅茶会内容

- (1) 食事 16:30~18:30
- (2) バーベキューセンターでの紅茶会 18:30~20:30  
開会  
物故会員に黙禱  
会長挨拶  
各隊報告  
挨拶、山の歌、歓談  
閉会

## 17. 小梨平費用、他

## (1) 収入予定

参加者をOB16人として試算する。

小梨平での宿泊1泊、食事(7/30夕食、7/31朝食)の費用として下記。

小梨平参加費OB(含む家族)1人	7,500円	$7,500円 \times 16人 =$	120,000 円
小梨平宿泊費 ケビン1人	6,100円	$6,100円 \times 16人 =$	<u>97,600 円</u>
			217,600 円

その他保険費用として1人、500円必要

従って、小梨平キャビンに1泊して、保険加入で12,500円。交通費、各山行費用は別途必要。

現役が参加する場合は、参加費0、テント幕営料800円、保険費用500円。

## (2) 概算支出予定

小梨平ケビン×16人、9室	$6,100円 \times 16人 =$	105,400 円
バーベキューセンタ	$4,500円 \times 16人 =$	72,000 円
道具購入費		1,000 円
食料、飲み物		29,670 円
運搬費		2,000 円
お礼		7,000 円
予備費		<u>530 円</u>
		217,600 円

- (3) 準備班集合(各隊の一部)
  - メンバー: 実行委員、有志
  - 集合日時: 7月30日(土) 14時(昼食後)
  - 場所: 小梨平キャンプセンター受付前
- (4) 準備班以外集合
  - 集合日時: 7月30日(土) 15時(最終)
  - 場所: 小梨平B型ケビン前
- (5) 宿泊予約
  - 7月30日(土)小梨平ケビン--- 予約済み
  - タイプ: B型ケビン9室(18~27人分)
  - 設備: 6畳間、寝具毛布各4組、キッチン付、食器什器定員分付、炊飯器は電気釜、トイレは外の共同施設を使用
  - 料金: 1室2人利用で1人6,100円、1室1人利用で1人10,000円
- (6) 解散
  - 7月31日(日)朝食後9時頃
- (7) 後片付け
  - 準備班、他 荷物発送
- 18. 小梨平装備発送
  - (1) 必要装備一式を7月23日(土)~7月27日(水)に上高地郵便局留でユーパックで発送。郵便局は10日間保管、7/26着で8/4まで保管。
  - (2) 小梨平まではリヤカーで運搬
- 19. 小梨平食料発送
  - (1) 野菜、調味料などは7月27日(水)に上高地郵便局留でユーパックで発送、所要日数は3日
  - (2) 新鮮野菜は伊藤が7月29日(金)に持参。上高地手荷物一時預りに預け外出後引取り。  
〒300-1516 松本市安曇4470番地 上高地登山案内人組合 電話:0263-95-2034
  - (3) 生鮮食料、つけもの、ビール、酒、ワインなどは小梨平食堂に依頼
- 20. 連絡先一覧
  - (1) 森のリゾート小梨 小梨平キャンプセンター(担当:道鬼支配人)  
〒390-1516 長野県松本市安曇上高地4468 電話0263-95-2321
  - (2) 上高地郵便局  
〒390-1516 長野県松本市安曇上高地4468 電話0263-95-2055
  - (3) 白樺荘 電話0263-95-2131
  - (4) 徳沢園 電話0263-95-2508
  - (5) 明神館 電話090-3480-0434
  - (6) 双六小屋 電話090-2641-1911
  - (7) 槍ヶ岳山荘  
〒390-0841 長野県松本市渚3-11-8 電話0263-25-0110

小梨平ケビン部屋割り(慶應義塾大学工学部山岳部OB会)

2022年夏山 参加者:16名

	氏名	隊	コース	7/30 小梨平 ケビン泊 部屋割	保険要否	費用合計
1	20M 宍戸 俊雅	J	岳沢	B19	要	14,100
2	27M 樋口 和雄	H	紅茶会	B18		13,600
3	28E 瀬上 伸一郎	J	岳沢	B17		13,600
4	29I 小林 武夫	G	屏風の耳	B18		13,600
5	31E 伊藤 孝	J	岳沢	B16		13,600
6	32M 川本 孝善	H	紅茶会	B16		13,600
7	33M 川村 尚久	J	岳沢	B17	要	14,100
8	39M 萬 礼博	H	紅茶会	B15		13,600
9	40C 中田 正文	G	屏風の耳	B15		13,600
10	40I 吉武 宣之	G	屏風の耳	B14	要	14,100
11	40M 奈良部 厚	G	屏風の耳	B14	要	14,100
12	42I 庄司 慎吉	A	西鎌尾根から槍ヶ岳	B13		13,600
13	45B 横山 雅彦	H	紅茶会	B13		13,600
14	48M 千葉 信一郎	G	屏風の耳	B12	要	14,100
15	72SD 奥村 幸弘	G	屏風の耳	B12	要	14,100
16	76PI 加藤 浩太	G	屏風の耳	B11	要	14,100

合計

221,100

参加費1人: 7,500 円  
 ケビン1泊: 6,100 円  
 保険1人: 500 円

年	夏山		参加者
	回	開催地	
1999年	1	上高地(60周年)①	63
2000年	2	吾妻①	32
2001年	3	戸隠①	40
2002年	4	上高地②	31
2003年	5	戸隠②	24
2004年	6	上高地③	42
2005年	7	白馬①	28
2006年	8	廻り目平①	30
2007年	9	廻り目平②	29
2008年	10	白馬②	26
2009年	11	上高地(70周年)④	44
2010年	12	上高地⑤	27
2011年	13	上高地⑥	26
2012年	14	上高地⑦	26
2013年	15	上高地⑧	22
2014年	16	上高地(75周年)⑨	19
2015年	17	上高地⑩	17
2016年	18	上高地⑪	20
2017年	19	上高地⑫	15
2018年	20	上高地⑬	18
2019年	21	上高地⑭	18
2020年		中止(COVID-19感染予防)	
2021年		中止(COVID-19感染予防)	
2022年	22	上高地⑮	16

1. 昨年、一昨年と夏山はコロナで中止にした。しかしながらコロナは収束することはなく、コロナの状況でも通常の活動を取り戻していく必要があり、皆の考えもその方向になってきている。そんな中でKSTAC夏山はOBが高齢者化しているが故、会える機会をなるべく多くして、登れる範囲で登り、山を楽しむことがこの夏山の重要な意義となりつつある。
2. 幸い山という解放された環境の中で感染リスクも少なく、入山前の抗原検査をしていれば問題ないであろうということで実施に踏み切った。結果的にはお互いの距離も適当に取られており、問題なかったと思われる。
3. 山行は3隊が出たが、各年代に相応した計画で問題なかった。
4. 予約するケビンの部屋数はいつも悩まされているが、今年も例年の8部屋で予約をした。しかし途中で参加者が20名になったため、庄司君にお願いして部屋数を増やす交渉をしてもらい、9室が確保できた。結果的には4名のキャンセルがあつて16名となった。
5. コロナが理由で直前に3名のキャンセルが出たが、会社の指示に従う必要があるのでやむを得ない。例年出張とか仕事の都合で直前にキャンセルが出ている。
6. 夕食のバーベキューは今まで食材を持ち込み、バーベキューコーナーだけ利用させてもらっていたが、今までは歴代支配人の特別配慮だったらしい。今年は支配人も新しくなり、本来のバーベキューセット込みのバーベキューコーナー利用となった。バーベキューセットの内容は肉の質以外はほぼ問題なく、買出しの手間も少なくなった。
7. 夕食が16時半より18時、紅茶会が18時半から20時半に終了。
8. 夏山決算は残金5,508円でした。OB会に寄付。
9. KSTAC夏山は1999年の60周年から22回に渡り続けられてきた。実行委員長は伊藤が13回、岩永さんが9回務めた。来年より実行委員長は庄司君、食糧、道具担当は横山君に交代するが今後とも継続されることを希望します。若いOBや現役がもっと参加できるようになればと思っています。

## 夏山食糧感想・反省

### 川村

1. 朝食の材料、酒類を上高地郵便局留で送る場合、受け取りする人、運ぶ人と時刻をあらかじめ決めておく必要あり。  
今までは伊藤さんの下山時刻が早く、段取りの指示ができた。
2. ケビンのチェックイン時刻が14時。それ以前に鍵を受け取りできなかった。全員に周知の必要。荷物預けは可。
3. 入浴時刻の制限が細かくあり。コロナ禍によるものかこれからも続くのか、不明。
4. 岳沢隊見晴台の行動は約2時間である。登山の体力はやや不安、「紅茶会+穂高を」というOBの参加募集はいかがか。  
個人用は靴、雨具、水筒、その他は隊用として分担して装備すれば、用具購入なしかつ軽量で登山できそうです。  
ただし、川村は詳細の企画をするには不向きです。(会員の直近50年の活動状況を全く知らないのので。)

### 伊藤

1. バーベキューセット  
肉の量が多く、食べきれなかったが、全体的にはいい内容
2. バーベキュー  
網に肉が張り付いて焼きにくかった。以前もそのようなことがあり鉄板に代えてもらった経緯がある。今後も鉄板にしたほうがいい。  
その場合サラダオイル持参の必要あり  
炭は2時間以上もっていたので、以前の火持ちの悪さは改善されていた。
3. 酒の量  
日本酒を2本(2升)持って行ったが、1本が半分くらい余った  
差し入れがあり余ったものと思われる。  
ビールは500mlを20缶頼んだが、暑かったせいか足らなかった。  
人数×1.5くらいが適量か(プラス4缶)
4. 朝食  
いつものおじやは問題なし  
チンゲン菜は運搬時に腐るため、マイタケに変更したがよかった。  
例年の漬物は小梨平に無理を言って用意してもらっていたとのこと。  
今年はキュウリにしたが、美味しかった。

## 2022年夏山「穂高2022」の決算

2022/8/6

夏山会計 伊藤 孝



## 収入

	単価	個数、人数	予算	実績	備考
会費	7,500	16	120,000	120,000	
宿泊	6,100	16	97,600	97,600	
保険	500	7	3,500	3,500	
合計			221,100	221,100	

## 支出

	単価	個数、人数	予算	実績	備考
ケビン	6,100	16	97,600	97,600	日本アルプス観光
ケビン1人部屋差額	3,900	2	7,800	0	差額サービス
バーベキューコーナー使用料	4,500	16	72,000	72,000	日本アルプス観光
小計			177,400	169,600	
食料			27,870	28,101	
一時預かり			500	400	野菜
計画書送付			2,100	2,101	
食器借用、道具購入			1,000	0	
予備費			660	0	
保険費		10	4,570	4,570	10人で契約、実際は7人
日本アルプス観光へのお礼			7,000	10,820	
小計			43,700	45,992	
合計			221,100	215,592	
	残金		0	5,508	OB会へ寄付